



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 東京テアトル株式会社

コード番号 9633 URL <http://www.theatres.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 和宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 松岡 毅

TEL 03-3355-1010

四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	8,818	11.2	133	△37.7	175	△32.3	100	△58.0
28年3月期第2四半期	7,930	6.8	214	60.8	259	40.1	238	88.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 118百万円 (10.7%) 28年3月期第2四半期 106百万円 (△15.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	1.27	—
28年3月期第2四半期	3.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
29年3月期第2四半期	24,165		13,930	57.6			176.74	
28年3月期	24,250		13,904	57.3			176.15	

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 13,930百万円 28年3月期 13,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	3.3	250	△43.0	300	△40.4	150	△58.8	1.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	80,130,000 株	28年3月期	80,130,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,311,800 株	28年3月期	1,194,292 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	78,885,050 株	28年3月期2Q	78,936,420 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成29年3月期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日、以下「当四半期（累計）」といいます。）におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし個人消費の停滞や海外経済の不確実性の高まりから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当四半期（累計）の連結業績は、不動産販売事業において中古マンション等の再生販売の売上が大幅に伸長したこと、映画配給事業において大型作品を制作受託したこと及び映画興行事業が好調に推移したこと等から売上高は8,818百万円（前年同期比11.2%増）となりました。しかしながらサービス事業において利益率が低下したことや、マンション等のリフォームが減益となったこと等から営業利益は133百万円（前年同期比37.7%減）、経常利益は175百万円（前年同期比32.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は100百万円（前年同期比58.0%減）となりました。

■連結経営成績（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
売上高	7,930	8,818	+887
営業利益	214	133	△80
経常利益	259	175	△83
親会社株主に帰属する 四半期純利益	238	100	△138

セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

■セグメント別外部売上高（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	1,398	1,919	+520
飲食関連事業	3,008	3,133	+125
不動産関連事業	2,987	3,261	+274
その他事業	535	503	△32
計	7,930	8,818	+887

■セグメント別営業利益（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	△7	84	+92
飲食関連事業	36	8	△28
不動産関連事業	513	458	△54
その他事業	29	△33	△63
調整額	△357	△384	△27
計	214	133	△80

<映像関連事業>

(映画興行事業)

『シング・ストリート 未来へのうた』『ディストラクション・ベイビーズ』『ルーム ROOM』等が好成績を収めたことから前年同期比で増収となりました。

当四半期末の映画館数及びスクリーン数は、前年度末と同じ9館23スクリーンです。

※「新所沢レッツシネパーク」は、平成28年12月16日にリニューアルオープンする予定です。

(映画配給事業)

『きかんしゃトーマス 探せ!!謎の海賊船と失われた宝物』、当社創立70周年記念作品『モヒカン故郷に帰る』『ディストラクション・ベイビーズ』等が好成績を収めました。加えて『ディアスポリス』のTVドラマ及び映画

の制作受託売上が計上されましたので前年同期比で大幅な増収となりました。

(ソリューション事業)

既存クライアントから大型のセールスプロモーションや映画のテレビCMを受注したこと等から前年同期比で大幅な増収となりました。

以上の結果、映像関連事業の売上高は1,919百万円（前年同期比37.2%増）となり、営業利益は84百万円（前年同期は営業損失7百万円）となりました。

<飲食関連事業>

(飲食事業)

平成28年5月1日に他社より飲食店5店舗を譲受けたことや、前年度に出店した焼鳥専門店チェーン「串鳥」千歳駅前店がフル稼働したことから、前年同期比で増収となりました。

当四半期末における飲食店及び惣菜・洋菓子店の店舗数は下表のとおりです。

■飲食店及び惣菜・洋菓子店の店舗数

	前年度末	当四半期末	増減
焼鳥専門店チェーン「串鳥」	36	36	0
串焼専門店「串鳥番外地」他	3	3	0
都内ダイニング&バー	6	11	+5
飲食店 合計	45	50	+5
惣菜・洋菓子店 合計	3	3	0

※平成28年10月5日に「串鳥」月寒中央店、同年11月3日に「串鳥」青葉通一番町店が開店いたしました。また「海鮮問屋 惣八」は、業態変更を行い、平成28年11月24日に「日本酒・大衆酒場 北海道ながまれ」としてリニューアルオープンする予定です。

以上の結果、飲食関連事業の売上高は3,133百万円（前年同期比4.2%増）となりましたが、人員確保のため人件費が増加したこと、譲受けた5店舗の業態を含めた運営計画が遂行途中であることから営業利益は8百万円（前年同期比77.9%減）となりました。

<不動産関連事業>

(不動産賃貸事業)

賃貸不動産は高稼働を維持いたしましたが、前年度に不動産管理事業から撤退したことから前年同期比で大幅な減収となりました。

(不動産販売事業)

低金利を背景に中古マンション等の再生販売の売上が大幅に伸長したことから前年同期比で大幅な増収となりました。

以上の結果、不動産関連事業の売上高は3,261百万円（前年同期比9.2%増）となりましたが、前年度に大型案件を受注したマンション等のリフォームの減益が影響し営業利益は458百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

<その他事業>

サービサー事業は大口債権を回収したことから前年同期比で大幅な増収となりましたが、前年度にレジャーホテル事業から撤退したこと等から前年同期比で減収となりました。

以上の結果、その他事業の売上高は503百万円（前年同期比6.0%減）となり、サービサー事業において利益率が低下したことから営業損失は33百万円（前年同期は営業利益29百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産負債及び純資産の状況

(資産の部)

資産合計は、前年度末と比べて84百万円減少し、24,165百万円となりました。これは、現金及び預金が552百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が199百万円減少したこと、買取債権が151百万円減少したこと、流動資産その他が249百万円減少したこと等によるものです。

(負債の部)

負債合計は、前年度末と比べて110百万円減少し10,235百万円となりました。これは、有利子負債が177百万円増加しましたが、未払金が166百万円減少したこと、前受金が142百万円減少したこと等によるものです。

(純資産の部)

純資産合計は、前年度末と比べて25百万円増加し、13,930百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上100百万円及び配当金の支払78百万円により、利益剰余金が21百万円増加したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前年度末より529百万円増加し2,148百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は722百万円（前年同期比432百万円増）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益が172百万円（前年同期比93百万円減）、減価償却費が197百万円（前年同期比1百万円減）、売上債権の増減額が199百万円（前年同期比243百万円増）となったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は280百万円（前年同期比949百万円減）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出156百万円（前年同期比1,308百万円減）、事業譲受による支出96百万円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は86百万円（前年同期比99百万円減）となりました。この主な要因は、配当金の支払額が77百万円となったこと、長期借入による収入が1,005百万円（前年同期比425百万円増）となったこと、長期借入金の返済による支出が811百万円（前年同期比507百万円増）となったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年10月26日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,767,964	2,320,449
受取手形及び売掛金	485,265	285,348
商品	116,630	149,806
販売用不動産	1,560,768	1,569,338
貯蔵品	15,750	15,867
繰延税金資産	62,829	60,020
買取債権	1,628,487	1,477,123
その他	962,683	713,037
貸倒引当金	△368,845	△428,772
流動資産合計	6,231,533	6,162,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,049,621	4,988,390
機械装置及び運搬具(純額)	59,291	59,628
工具、器具及び備品(純額)	185,414	166,773
土地	9,931,013	9,931,013
リース資産(純額)	91,294	79,959
建設仮勘定	-	43,910
有形固定資産合計	15,316,635	15,269,675
無形固定資産		
借地権	39,207	39,207
ソフトウェア	42,141	34,293
リース資産	741	455
のれん	-	25,769
その他	3,776	3,776
無形固定資産合計	85,867	103,503
投資その他の資産		
投資有価証券	1,873,470	1,906,448
長期貸付金	765	665
差入保証金	418,197	468,578
繰延税金資産	118,379	119,864
その他	378,968	298,441
貸倒引当金	△173,482	△163,457
投資その他の資産合計	2,616,299	2,630,541
固定資産合計	18,018,802	18,003,721
資産合計	24,250,335	24,165,941

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	902,984	842,956
短期借入金	210,000	206,272
1年内返済予定の長期借入金	656,392	674,882
リース債務	24,135	22,167
未払金	491,037	324,121
未払法人税等	90,608	94,990
前受金	297,654	154,665
賞与引当金	152,630	160,344
その他	387,999	395,758
流動負債合計	3,213,442	2,876,159
固定負債		
社債	180,000	180,000
長期借入金	2,539,834	2,715,065
リース債務	77,917	67,539
長期末払金	1,500	1,500
長期預り保証金	1,976,264	1,969,923
繰延税金負債	590,041	609,934
再評価に係る繰延税金負債	850,717	850,717
役員退職慰労引当金	55,648	55,648
退職給付に係る負債	755,000	785,780
資産除去債務	105,530	123,297
固定負債合計	7,132,452	7,359,406
負債合計	10,345,895	10,235,565
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,552,640	4,552,640
資本剰余金	3,737,647	3,737,647
利益剰余金	3,907,862	3,929,155
自己株式	△237,303	△250,694
株主資本合計	11,960,845	11,968,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	205,683	223,716
土地再評価差額金	1,737,910	1,737,910
その他の包括利益累計額合計	1,943,593	1,961,627
純資産合計	13,904,439	13,930,375
負債純資産合計	24,250,335	24,165,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	7,930,282	8,818,189
売上原価	5,388,545	6,359,546
売上総利益	2,541,736	2,458,642
販売費及び一般管理費		
役員報酬	103,418	103,506
広告宣伝費	25,082	22,382
人件費	1,222,744	1,206,616
賞与引当金繰入額	118,217	113,615
退職給付費用	36,555	33,225
賃借料	181,093	166,866
水道光熱費	101,689	99,949
貸倒引当金繰入額	15,599	59,936
その他	522,761	518,872
販売費及び一般管理費合計	2,327,162	2,324,973
営業利益	214,574	133,669
営業外収益		
受取利息	182	46
受取配当金	38,250	38,633
協賛金収入	10,503	8,195
貸倒引当金戻入額	10,084	10,033
投資有価証券売却益	1,649	-
その他	9,098	10,539
営業外収益合計	69,768	67,449
営業外費用		
支払利息	24,079	24,528
借入関連費用	739	968
その他	380	275
営業外費用合計	25,199	25,772
経常利益	259,144	175,346
特別利益		
関係会社株式売却益	41,750	-
特別利益合計	41,750	-
特別損失		
固定資産除却損	13,895	2,965
解約違約金	21,000	-
特別損失合計	34,895	2,965
税金等調整前四半期純利益	265,998	172,380
法人税、住民税及び事業税	82,385	66,918
法人税等調整額	△55,202	5,233
法人税等合計	27,183	72,151
四半期純利益	238,815	100,228
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	238,815	100,228

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	238,815	100,228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△131,940	18,033
その他の包括利益合計	△131,940	18,033
四半期包括利益	106,875	118,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,875	118,262
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	265,998	172,380
減価償却費	199,577	197,684
のれん償却額	-	1,415
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,514	49,902
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,026	7,714
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	26,549	30,780
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,825	-
受取利息	△182	△46
受取配当金	△38,250	△38,633
支払利息	24,079	24,528
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,649	-
固定資産除却損	6,234	2,965
関係会社株式売却損益(△は益)	△41,750	-
商品評価損	-	1,871
たな卸資産の増減額(△は増加)	△115,237	△41,691
売上債権の増減額(△は増加)	△43,557	199,916
仕入債務の増減額(△は減少)	35,402	△60,028
その他の資産の増減額(△は増加)	△168,513	462,382
その他の負債の増減額(△は減少)	99,832	△246,462
小計	267,248	764,679
利息及び配当金の受取額	38,433	38,680
利息の支払額	△24,840	△24,672
法人税等の支払額	8,940	△56,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	289,782	722,666
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	4,568	1,040
長期貸付けによる支出	△11,100	△400
長期貸付金の回収による収入	208,924	340
有形固定資産の取得による支出	△1,464,904	△156,709
有形固定資産の解体による支出	-	△2,935
無形固定資産の取得による支出	△1,700	△1,791
資産除去債務の履行による支出	△27,777	-
定期預金の預入による支出	-	△23,399
定期預金の払戻による収入	8,299	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	53,634	-
事業譲受による支出	-	△96,328
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,230,055	△280,183

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△3,728
長期借入れによる収入	580,000	1,005,000
長期借入金の返済による支出	△303,428	△811,279
社債の発行による収入	180,000	-
社債の償還による支出	△180,000	-
リース債務の返済による支出	△12,514	△12,344
自己株式の取得による支出	△23	△13,391
配当金の支払額	△77,845	△77,653
財務活動によるキャッシュ・フロー	186,187	86,603
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△754,085	529,086
現金及び現金同等物の期首残高	2,958,066	1,619,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,203,980	2,148,349

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。